

英国金融政策（2026年6月）

4会合連続で政策金利を3.75%に据え置き

2026年6月19日

市場金利の上昇もあり、BOEは当面様子見姿勢を継続

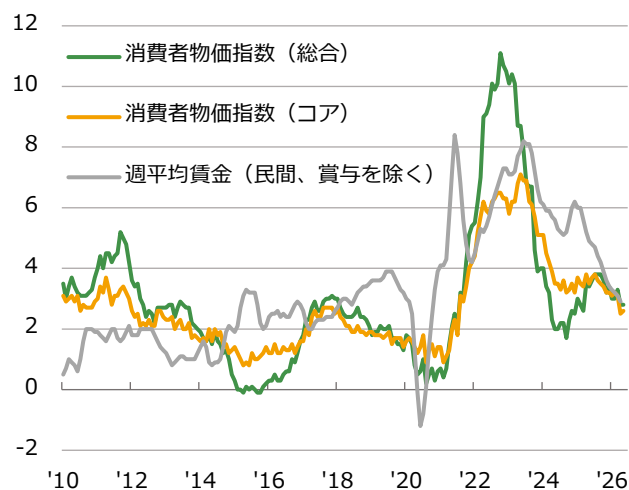
BOE（イングランド銀行）は6月17日（現地、以下同じ）に終了したMPC（金融政策委員会）で、市場予想通り政策金利を3.75%に据え置くことを決定し、18日に発表しました。4会合連続での据え置きです。票決は7対2で、2名が0.25%ptの利上げを支持しました。

声明文では前回同様、2%のインフレ目標を持続的に達成するために必要な金融政策姿勢は、エネルギー価格に係るショックの大きさ、長さ、広がりによろし、エネルギー価格の上昇が物価や賃金へ及ぼす二次的影響のリスクを指摘しています。一方で、労働市場は軟化し続けており、景気の弱まりや市場金利の上昇がインフレ圧力を抑制し得るとも述べています。中東情勢を注視しつつ「必要に応じて行動する用意がある」との表現は同じですが、米国とイランとの協議の進展を受けてエネルギー価格の上振れリスクが後退したことや、デイスインフレ基調の継続を踏まえ、BOEは2026年7-9、10-12月期のインフレ率の見通しをそれぞれ4月時点の3.3%から3%弱、3.6%から3.25%強へ下方修正しました。

賃金の伸びは鈍化基調にあり、エネルギー価格も中東での紛争前の水準に回帰しつつあるなか、市場金利の上昇がインフレリスクに対する「保険」として働くことで、BOEは当面様子見姿勢を続ける余裕があると考えます。市場は年内の0.25%ptの利上げを完全に織り込んでいますが、このままエネルギー価格が落ち着けば、BOEは利上げを回避できると見込みます。

英国の消費者物価指数と週平均賃金

(前年同月比、%) (2010年1月～2026年5月)

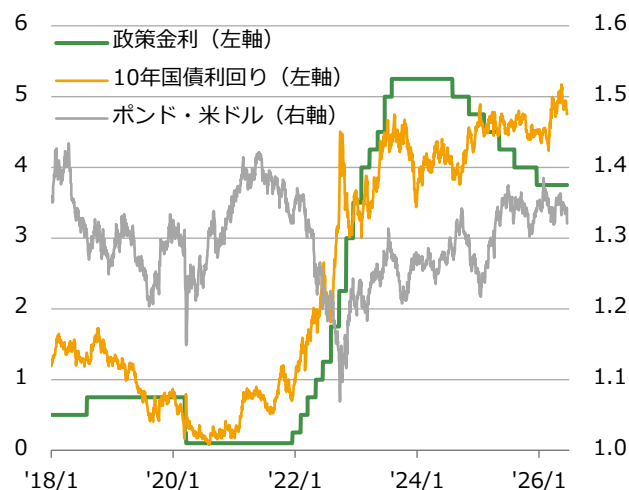


※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
※週平均賃金は3カ月移動平均で、2026年4月まで

(出所) 英国統計局

英国の金利と為替

(%) (2018年1月初～2026年6月18日) (米ドル/ポンド)



※政策金利は発表日ベース

(出所) ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント